

移植外科

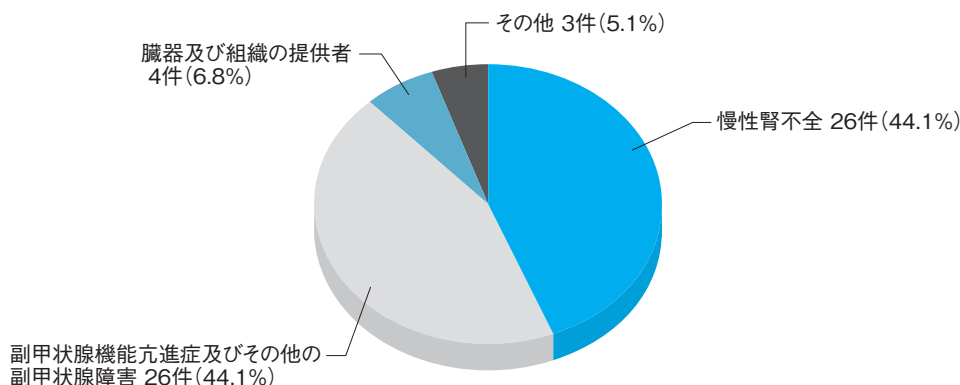
1. 概要

2010年4月より移植外科が標榜されて以来、移植外科医2人体制であったが、2012年5月に大塚聡樹医師（15年間勤務）が異動となり、移植外科医は1人となった。2012年10月からは東三河において唯一の腎移植認定施設となってしまったため、当地域の献腎移植登録患者の待機期間中のフォローアップは当院のみで行っている。また、他院で移植された腎移植患者や肝移植患者の定期通院も受け入れており、東三河だけでなく全国の移植施設との間で病診連携がなされている。生体腎移植目的の紹介患者は年々増加しており、今後、腎移植症例はさらに増えてゆくものと思われる。また、高カルシウム血症にともない尿路結石や骨折を繰り返す原発性副甲状腺機能亢進症や、長期透析にともなう二次性副甲状腺機能亢進症に対しての副甲状腺手術（2017年：24例）も年々増加しており、近隣透析施設との病診連携も密に行われている。

（部長 長坂 隆治）

2. 新規登録疾患

総数：59件



3. 活動報告

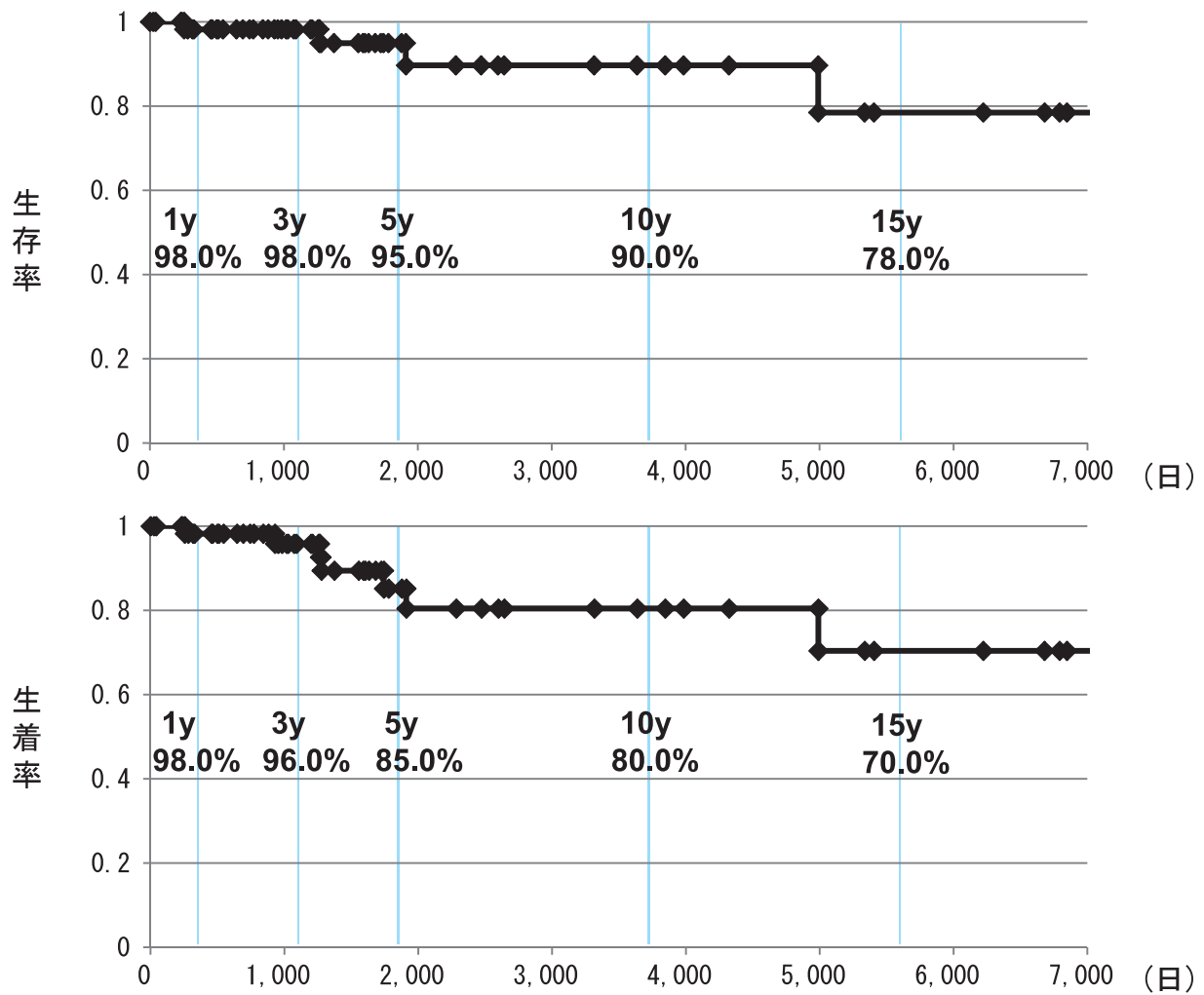
(1) 患者状況

年間外来患者数	1,422人	年間外来新患者数	50人
年間入院患者数	677人	年間入院新患者数	70人

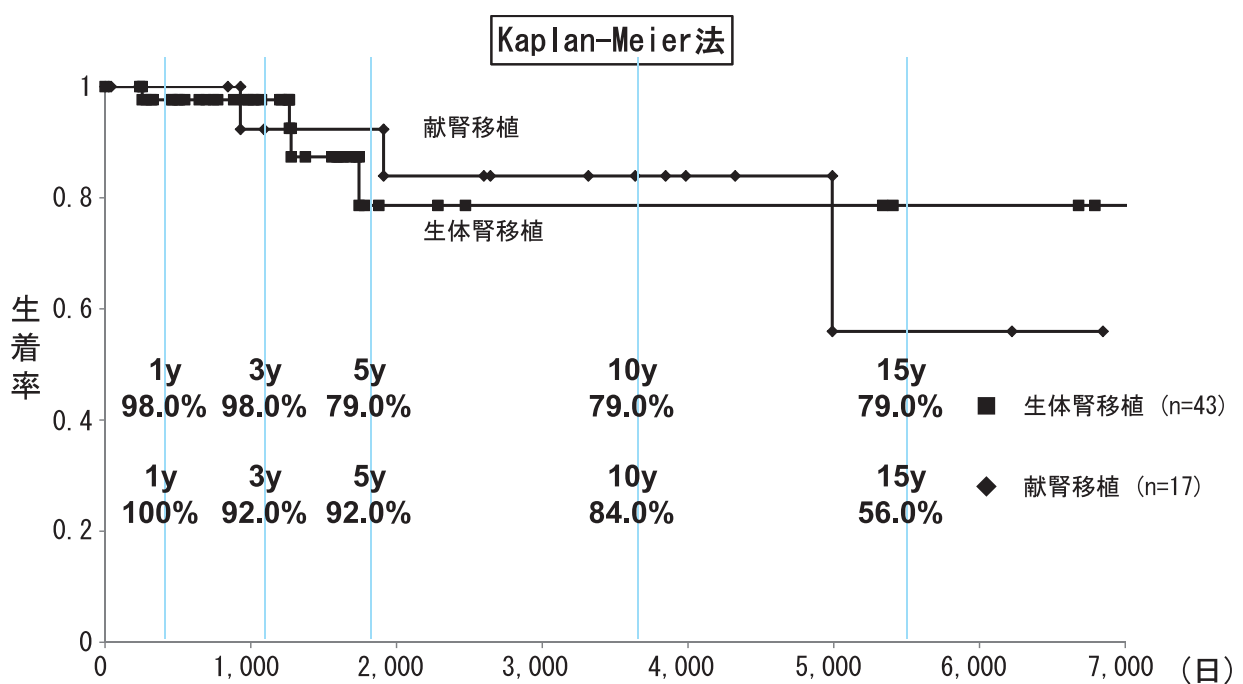
(2) 外来患者の状況（2018年3月1日現在）

	外来種別	患者数（人）		外来種別	患者数（人）
1	腎移植後	81	4	献腎移植登録外来	122
2	肝移植後	6	5	副甲状腺手術後	68
3	脾移植後	1		計	278

(3) 当院腎移植症例の生着率と生存率（2018年3月現在）



(4) 当院腎移植症例の生着率（生体腎移植 vs 献腎移植）（2018年3月現在）



学会発表（医局）

<移植外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	腎移植後に高フェリチン血症の腎性貧血治療に難渋している症例	筆頭演者	長坂 隆治	第50回日本臨床腎移植学会	神戸市	2017/2/17	
2	二次性副甲状腺機能亢進症に対する手術後の血中カルシウム・リン濃度管理について ～重症・中等症・軽症の典型例より～	筆頭演者	長坂 隆治	第39回東三医学会	豊橋市	2017/3/4	
3	上腸間膜動脈閉塞症に関する単純CT所見の検討	共同演者	長坂 隆治	第39回東三医学会	豊橋市	2017/3/4	
4	当院における献腎移植登録継続外来での実績	筆頭演者	長坂 隆治	第53回日本移植学会総会	旭川市	2017/9/8	

研究会発表（医局）

<移植外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	高度な動脈硬化を呈するドナー腎に対して長期のDGFに苦慮した献腎移植症例	筆頭演者	長坂 隆治	第28回東海北陸腎不全治療研究会	名古屋市	2017/3/18	
2	HLA-C座のドナー特異的HLA抗体陽性に行われた生体腎移植症例	筆頭演者	長坂 隆治	第1回東海北陸HLA研究会	名古屋市	2017/7/9	
3	3DCT立体画像ガイドにより副甲状腺摘出手術の有用性について	筆頭演者	長坂 隆治	第9回二次性副甲状腺機能亢進症に対するPTx研究会学術集会	徳島市	2017/10/21	
4	術前局在診断を高めるためのMPR画像、3D画像構築の試み	筆頭演者	長坂 隆治	第9回二次性副甲状腺機能亢進症に対するPTx研究会学術集会	徳島市	2017/10/21	

座長・司会（医局）

<移植外科>

No.	座長・司会	演題名	座長名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	座長	感染症（ポスター）	長坂 隆治	第50回日本臨床腎移植学会	神戸市	2017/2/16	

講演（医局）

<移植外科>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	自分の生活規律を見直そう! (自宅血圧測定、睡眠表、etc)	長坂 隆治	第112回移植セミナー	豊橋市	2017/3/5	
2	初心にもどって腎移植者の健康 管理を考えよう	長坂 隆治	第5回ドレミの会	長久手市	2017/11/12	

論文・著書 (医局)

<移植外科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名	医師 区分
1	二次性副甲状腺機能亢進症に対する手術後の血中カルシウム・リン濃度管理について ～重症・中等症・軽症の典型例より～	筆頭著者	長坂 隆治	東三医会誌. 2017; 57-65.	
2	上腸間膜動脈閉塞症に関する単純CT所見の検討	共同著者	長坂 隆治	東三医会誌. 2017; 52-56.	
3	HLA-C座のドナー特異的HLA抗体陽性に行われた生体腎移植症例	筆頭著者	長坂 隆治	MHC. 2017; 24: 163.	
4	9. Preoperative image diagnosis	共同著者	長坂 隆治	Surgery for Hyperparathyroidism. 2017, p.35-p.36.	